

職場内で掲示・回覧をお願いします。

協会けんぽ 2023(令和5)年度決算(見込み)のお知らせ

2023年度の決算(見込み)の概要

2023年度の決算は収入が11兆6,104億円、支出が11兆1,442億円、収支差は4,662億円で前年度から343億円の増加となりました。収入・支出の主な内訳は以下のとおりです。

【収入】

- ・ 保険料収入は2,577億円増加。賃金の増加が主な要因。

【支出】

- ・ 保険給付費は1,993億円増加。加入者1人当たり医療給付費が増加したことが主な要因。
- ・ 高齢者医療への拠出金等は1,358億円増加。団塊の世代が後期高齢者になることにより拠出金額が増加したことが主な要因。



2023年度の収支は、収入・支出ともに前年度より増加しましたが、主たる収入である「保険料収入+国庫補助等」は2,995億円増加した一方、主たる支出である「保険給付費+拠出金等」は3,351億円増加しており、**支出の方が収入よりも伸びています。**

そのため、収支差は実質的には前年度より縮小していることに留意が必要です。

〔その他の支出について、前年度に交付された国庫補助等の精算等による国への返還が生じなかったことにより、2023年度は前年度と比較して支出が683億円抑制されています。そのため、最終的には、収支差は、名目上、前年度より増加しています。〕

※詳しくは、協会けんぽのホームページをご覧ください。

■ 2023年度決算(見込み) | 医療分 (単位:億円)

収入	保険料収入	102,998 (+2,577)
	国庫補助等	12,874 (+418)
	その他	233 (+16)
	計	116,104 (+3,011)

支出	保険給付費	71,512 (+1,993)
	拠出金等	37,224 (+1,358)
	その他	2,705 (▲683)
	計	111,442 (+2,668)

単年度収支差	4,662 (+343)
--------	--------------

※()内は、対前年度比

※ 支出の「その他」は右図の「健診・保健指導経費」「協会事務費」「その他の支出」の合計

保険給付費 64.2%

協会けんぽが医療機関に支払う費用や、傷病手当金等の支払いに要する費用

保険料収入 88.7%

被保険者・事業主の皆さまに納めていただいている保険料

高齢者医療への拠出金等33.4%

高齢者の皆さまの医療費の一部を現役世代が負担しています。

支出 約11.1兆円

収入 約11.6兆円

健診・保健指導経費 1.4%

協会事務費 0.6%

その他の支出 0.4%

国からの補助金 11.1%

その他の収入 0.2%

Q. 2023年度の決算は黒字額が増加しましたが、協会けんぽの財政は今後どのような見通しなのでしょうか？

A. 協会けんぽの財政は、以下の理由から**楽観を許さない状況**です。

- ・ 団塊の世代が後期高齢者になることにより**高齢者医療への拠出金等の短期的な急増が見込まれ、その後も中長期的に高い負担額で推移することが見込まれること。**

※ 高齢者医療への拠出金等 2023年度:2兆1,900億円 → 2025年度:2兆5,300億円

- ・ 協会けんぽ加入者の平均年齢上昇や医療の高度化等により**保険給付費の継続的な増加が見込まれること。**

※ 保険給付費 2023年度:7兆1,512億円 → 2028年度:7兆6,600億円

こうした状況を踏まえ、協会は、将来を見据えて、加入者の健康づくりに向けた取組を進めつつ、保険財政の持続可能性という観点から、各種医療費適正化対策にも取り組んでまいります。



令和5年度 山梨支部事業報告

医療費適正化の取組

■ジェネリック医薬品の使用促進

山梨支部加入者の使用状況を踏まえ、ジェネリック医薬品の使用促進に向けた事業を実施しました。

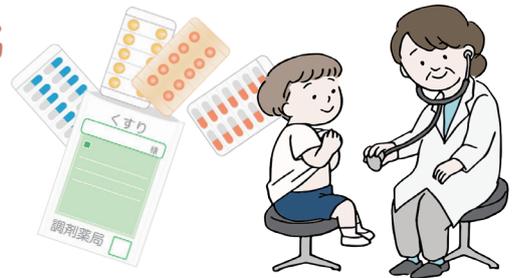
- 園児向けにジェネリック医薬品希望カードを配布
- 小・中学生の保護者に子ども医療費啓発チラシ等を配布
- 医療機関、保険薬局に対してジェネリック医薬品の使用割合等を記載したお知らせを送付
- お薬代の自己負担軽減額が一定以上見込まれる方にジェネリック医薬品軽減額通知を送付
- 山梨県薬剤師会の会員薬局を通じ、薬局利用者にヴァンフォーレ甲府のマスコット、「ヴァンくん」「フォーレちゃん」がデザインされたお薬手帳カバーを配布

■被扶養者資格再確認

協会けんぽでは、毎年被扶養者資格の再確認業務を実施しています。令和5年度は全国で約7.1万人の被扶養者資格が解除となり、高齢者医療制度への支援金等の負担が約10億円削減される見込みとなりました。

■債権発生防止のための保険証回収強化

退職等の資格喪失後に保険証を使用して医療機関を受診された場合には、資格喪失後受診として協会けんぽが負担した医療費を返納していただきます。こうした医療費返納を抑制するため、保険証回収の電話勧奨及び文書送付、納入告知チラシ等での周知広報を実施しました。



健診及び健康づくり事業への取組

■健診受診率、特定保健指導実施率の向上

健診機関と連携した集団健診、事業所への訪問勧奨を実施しました。

- ショッピングモール等を活用し、被扶養者向けのまちかど健診等を実施
- YouTube公式チャンネルでの特定保健指導の周知にかかる動画配信およびインストリーム広告を実施
- 特定保健指導対象者が概ね10名以上いる事業所への特定保健指導の利用にかかる訪問勧奨を実施

■健康宣言事業の推進

山梨支部では、従業員が心身ともに健康で働ける職場を目指す取組「目指そう！健康事業所」にエントリーする事業所を募集しています。

エントリー事業所拡大に向けて、事業所訪問や電話勧奨等を実施し、エントリーいただいた事業所には以下の支援を行いました。

- 事業所の健康度や生活習慣が見える化したカルテを送付
- 四半期に一度、健康情報誌を配布
- 健康づくり講座(オンライン等)を実施



山梨支部
健康宣言事業所数
894社
(令和5年度末時点)
前年度比+250社